

横浜港南本牧ふ頭地区国際海上CT整備事業 工事レポート平成31年 3月

京浜港湾事務所



工 事 名 横浜港南本牧地区岸壁(-18m) (耐震) 上部等工事

工 期 平成29年10月 3日 ～ 平成31年 2月28日

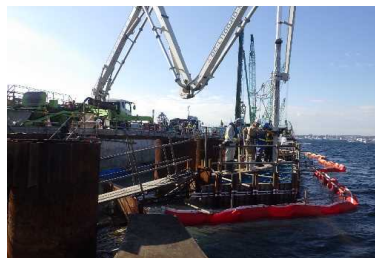
施工会社 東洋建設株式会社 横浜支店

工事内容 MC4岸壁を構築するため、基礎工からクレーン基礎工や上部工など、岸壁本体完成までを施工します。

●本工事の施工記録



海側作業構台 撤去
平成30年 9月



頂部コンクリート コンクリート打設
平成30年12月



防舷材設置
平成31年 2月

●進捗状況

2月28日で全ての作業が終了し、岸壁本体が完成しました。

●お知らせ

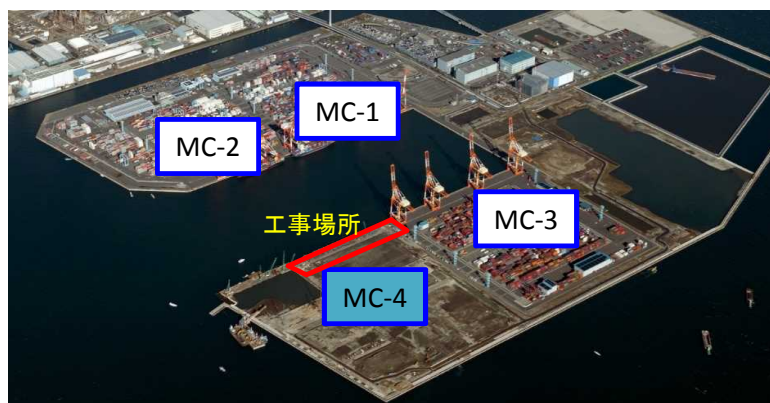
無事故・無災害で現場作業を終えることが出来ました。



横浜港南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業



	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
MC4	岸壁(水深18m) (耐震)									
	荷捌き地									
	航路・泊地、泊地(水深18m)									
	荷役機械・上屋等 (事業区分: 貸付)									



横浜港南本牧ふ頭地区国際海上CT整備事業 工事レポート平成31年 3月 京浜港湾事務所

横浜港南本牧地区岸壁(-18m)(耐震)上部等工事

本工事の Before - After



着工前(平成29年10月)



16か月後



完 成(平成31年2月)

現場担当技術者紹介



太田 海道(26歳)入社1年目

□工事への情熱

私は今年度に入社し、この現場が初めての現場です。初めは南本牧全体の工事の規模の大きさに目を疑いました。一日に何台もの重機、クレーン、船舶が日本最大水深のコンテナターミナルを造り上げるために稼働しています。

しかし、しばらく現場にいる内に、上司の方や職人さんの視野は私の上記の視点とは真逆であることに驚きました。針の糸を通すような繊細なところに常に気を配って、無駄なく丁寧に丁寧に工事を行っているのです。

鉄筋や鋼管杭など最終的には見えなくなるところこそ、徹底的にかぶりや法線を何度も修正し、チェックします。

こんな経験を経て、私の学んだ情熱は巨大なものづくりだからこそ細かな気配りを持って挑むことです。

パッと見て「凄い！」と感じていただくだけでなく、何年も何百年も残り続け、それでも尚、未来の人にさえ「凄い！」と思っていただけるものをこれからも創っていきます。

□私の休日の過ごし

休日はまったりとすることが多いです。中華街で美味しいものを食べに行ったり、山下町で映画を見たりしています。横浜は住宅街は閑静でいて、少し歩くとにぎやかな街が広がっていて過ごしやすい街です。

長期の休暇が取れた時は、沖縄に旅行に行ったり、泊りがけでスノーボードをしに行ったりしています。



健康管理への取り組み



全員が作業開始前の体調をチェック(血圧測定等)



午後からの作業前に全員でストレッチ体操を実施